

「蒲郡駅事件の控訴審勝利をめざす関西集会」開催！ 一切の組織破壊策動を許さず、さらなる闘いに決起するぞ！

J R 東海 労新 幹線 関西 地本は、6月10日、東淀川人権文化センターにおいて「蒲郡駅事件の控訴審勝利をめざす関西集会」を開催しました。集会には、多くの仲間の組合員が結集し、名古屋地方裁判所の不当判決を許さず、加藤誠二さんの早期職場復帰を勝ちとるために組織一丸となって全力で断固闘い抜くことを確認しました。



船出新幹線関西地本委員長



加藤誠二さん



淵上本部副委員長

集会は湊書記長の司会ではじまり、主催者を代表して船出委員長から「この集会は、4地本（新幹線地本、静岡地本、名古屋地本、新幹線関西地本）が各地本ごとに集会を開催し、そして加藤誠二さんにも参加して頂き、裁判のデッチ上げ、労働組合つぶしの弾圧を跳ね返す意志一致をはかるために行われています。関西地本も、控訴審勝利に向けて決起しよう」とあいさつしました。その後、来賓として淵上本部副委員長より「加藤さんの家族を巻き込んだ弾圧は許せない。民事、刑事裁判の不当性を具体的に明らかにしていく。それが控訴審勝利に向かうことである」とあいさつを受け、舟山 J R 総連特別執行委員からは「法の精神の疑わしきは罰しないという原則が失われつつある。今回の弾圧の先には、軍事大国化を目指す動きがあることをあばきだしながら闘う」と連帯のあいさつを受けました。最後に、加藤誠二さんからは「弾圧から今日まで組合員のみなさんの職場からの闘い、傍聴券獲得の闘いなど、多くの仲間を支えられ闘ってこれました。これからも、みなさんの力を頂き、いい加減な判決を許さず、控訴審勝利に向け最先頭で闘っていく」と、力強い決意が明らかにされました。

全組合員のみなさん！加藤誠二さんの想いを我がものとして、これからも共に闘って行くではありませんか。
(裏面に集会アピール掲載)

加藤誠二さんと共に闘うぞ！